

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	平均年齢92歳(R6)をむかえる本年、介護度の進みも懸念される。家族も含めた意識の統一と、ケアの統一、医療との連携の重要度が増してくると考える	介護度、年齢等進む中で重度化や終末期ケアを家族も含め、主治医、訪問看護ステーション、職員と連携や意思の疎通の強化。入居者個別の研修の実施を強化していきたい。	モニタリングの徹底と、家族の現状の理解度の把握を定期的実施することで、より家族の協力と医療機関とぱれっとの連携体制が確立できるものと考え実施していく。	12ヶ月
2	13	昨年に引き続きまだまだコロナの心配はある現状、地域との連携も完全に復活できず、特に災害時の不安は、入居者様の認知レベル、ADLの進みを考えるとますます事業所内での災害対策の強化を課題としたい。	入居者様の年齢、認知レベル、ADLのすべてを考慮するとともに、水害、地震、火災等細やかな対応が必要になってきている今、職員に意識の統一と実践の遂行を図っていきたい。	繰り返しの避難訓練(水害時、地震時、火災時)昼間、夜間共に定期的実施。職員が入居者様各人の認知レベル、ADLをしっかり把握。行動に移せるよう実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。